

「霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会」の取組

平成30年8月現在

構成メンバー	霞ヶ浦流域16市町村(土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、鹿嶋市、潮来市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、小美玉市、美浦村、阿見町、河内町、利根町、香取市)、稲敷地方広域市町村圏事務組合、茨城県、千葉県、水資源機構、気象庁、国土交通省関東地方整備局		
5年間で達成すべき目標	霞ヶ浦における大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」を目指す		
目標を達成するための3つの取組	逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ確な避難行動のための取組	洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組	一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組

水防災に関する説明会の開催



霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会の構成機関(国、県、16市町村等)を対象に実施。常陸川水門の3つの役割(洪水の逆流防止、塩分の遡上防止、水利用)等について説明するとともに、平成27年9月関東・東北豪雨における治水効果についても情報共有を図りました。



県境・市境を越えた広域避難の連携に関する協定を締結

利根川及び霞ヶ浦、常陸利根川に囲まれた水郷地域を構成する4市(潮来市、稲敷市、神栖市、香取市)が一つとなり、大規模水害時に連携して県境・市境を越えた広域避難を可能とするため、協定を締結しました。

これまでの主な取組の例

気象キャスターと学ぶ「防災教室」を開催



気象キャスターによる防災に関する講義等を通じて、一般の方々に、河川管理者が発信する防災情報等の理解を深めて頂くことを目的に開催。

小学生を対象とした「防災教育」の実施



地域の災害リスクや防災の取組への理解を深め、自然災害から命を守るために必要な心構え・知識・判断力・行動力等を養うことを目的に、国土交通省・教育委員会・小学校の先生などが共同で作成した教材を用いて実施。

霞ヶ浦の堤防の「共同点検」を実施

洪水に対しリスクが高い区間で特に注意すべき箇所(重要水防箇所)における共通認識を図り、的確な水防活動の推進を目的として、地域住民及び水防管理団体等と共同で「共同点検」を実施。



このキーワードでアクセス

霞ヶ浦流域における「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく霞ヶ浦流域の減災に係る取組方針の策定に関する情報は ⇒

霞ヶ浦河川 水防災

検索